



ストリーム ICMP インспекタ

- [ストリーム ICMP インспекタの概要 \(1 ページ\)](#)
- [ストリーム ICMP インспекタを設定するためのベストプラクティス \(2 ページ\)](#)
- [ストリーム ICMP インспекタのパラメータ \(2 ページ\)](#)
- [ストリーム ICMP インспекタのルール \(2 ページ\)](#)
- [ストリーム ICMP インспекタの侵入ルールのオプション \(2 ページ\)](#)

ストリーム ICMP インспекタの概要

タイプ	インспекタ (ストリーム)
使用方法	検査
インスタンス タイプ	マルチトン
その他のインспекタが必要	なし
有効	true

Internet Control Message Protocol (ICMP) は、ネットワーク ユーティリティ アプリケーションやネットワーク デバイスで使用されるネットワーク 層プロトコルです。ICMP は、診断情報とエラー情報を送信して、IP ホスト間の通信が成功したか、または失敗したかを識別します。ICMP メッセージには、ヘッダー セクションとデータ セクションが含まれます。

ICMP は、他のフローに関する情報を伝達します。リアセンブルが必要なデータは伝送せず、ターゲット ベースのバインドも必要ありません。

stream_icmp インспекタは、ICMP フロート ラッキングを定義します。ping の場合、インспекタは、ICMP ヘッダーの送信元および接続先の IP アドレス フィールドとポート フィールドを介して基本的なフロート ラッキングを実行します。到達不能な接続先の場合、インспекタは元の IP アドレスと転送ポートを分析し、セッションの状態を更新します。port_scan インспекタは、到達不能なホストとポートが使用可能な場合は、それらを使用できます。

ストリーム ICMP インспекタを設定するためのベストプラクティス

`stream_icmp` インспекタを設定する場合は、次のベストプラクティスを考慮してください。

- ホストまたはネットワークに適用するセッションタイムアウトごとに `stream_icmp` インспекタを作成します。`stream_icmp` インспекタは、`session_timeout` を `binder` インспекタで定義されている ICMP ホストまたはネットワークに関連付けます。

同じネットワーク分析ポリシー (NAP) に複数のバージョンの `stream_icmp` インспекタを含めることができます。

ストリーム ICMP インспекタのパラメータ

`session_timeout`

`stream_icmp` インспекタが状態テーブルの非アクティブな ICMP ストリームを保持する秒数を指定します。Snort が同じフローキーを持つ ICMP データグラムを次に検出すると、以前のフローのセッションタイムアウトが期限切れになっているかどうかを確認されます。タイムアウトの期限が切れると、Snort はフローを閉じて新しいフローを開始します。Snort は、基本のストリーム設定に関連付けられた古いフローを確認します。

型：整数

有効な範囲：0 ~ 2,147,483,647 (max31)

デフォルト値：60

ストリーム ICMP インспекタのルール

`stream_icmp` インспекタには、関連付けられたルールはありません。

ストリーム ICMP インспекタの侵入ルールのオプション

`stream_icmp` インспекタには侵入ルールのオプションはありません。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。